

# 先 駆

65・11・15

第7号

「烽火」「赤旗」改題  
通号65号

1部 20円  
25号分 400円(干共)

●発行所 先 駆 社  
東京都千代田区神田駿河台  
3の2 東京ビル内  
(25) 7213  
大阪市東淀川区田川通3の  
16 万建ビル内  
(302) 7283  
振替 東京64937  
●編集発行人 正木 真一

すべての工場、地域、学園に  
共産主義者同盟を  
組織せよ！  
共産主義者同盟統一委員会

## 日韓闘争 特集

# 強行採決、各地で怒り

## 日韓紛争、佐藤内閣打倒！

### 11・9 十万人が国会前デモ

### 東京駅構内はデモの嵐

### 13・国鉄スト

政府・自民党の衆院特別採決後、九日の統一行動は、明治公園に十万人を動員して開かれた。以後、十日、十一日、十二日、十三日と、東京における闘いは連日、対国会闘争

9日 九日の共闘は、十万人の労働者、学生を明治公園に集めて開かれた。この日の特徴は、共産党の下部に

この日の特徴は、共産党の下部に、統一行動の統一組織の縮めつけが、強力に行われ、労働者の闘いのエネルギーを冷感させようとする

### 労働者の座り込み拡大

#### 民青統一行動の分裂を画策

当日、都学連の学生は明治公園の集会への参加を妨害し、闘う

11日 反戦青年と都学連の統一行動が日比谷野野でもたれ、九日の闘いを受け

この日、学生は二千人、動員力をやや低下したが、チャペル前センター集会を追求して出発

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

### 11・12 府学連二千が決起

#### 京都 民青地域デモは僅か八十

11・12 府学連は、この連闘を機として、京

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

### 富山大 社学同系勝つ

#### 一般教養 社学同系二二七 対民青一七六

富山 去る11・10、富山

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

### 12日、北大スト成功

#### 自民支部へ緊急デモ、11日

11・12 府学連の組織化に必死である

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

この日、民青統一派の地域デモは、単独で国会前座り込み、国会前

### 最先端から プロレタリア通信

十二日国労スト支援に参加して

富山 去る11・10、富山

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

この勝利は、日韓闘争の全国的高揚のなかでも、富山大

# 議会主義幻想の克服を

## 安保五・一九以後を想起せよ!

### 松山守道

一九六〇年五月十九日「新安保条約案の閣内閣外関係」の閣内閣外関係、議院運営を決定し、ファシズムの道徳公然と歩み始め、アメリカ帝国主義の戦争政策に追随し、協力を伴内閣を打倒しよう(五・一九、社会党抗議書)「日本人民が団結して闘うならば、内閣を倒す、国会を解散し、新安保条約を粉砕すること」を目標として闘い、これからの大統一行動をストライキの軸として成功させ、一〇〇〇万を突破した諸階級各運動を組織し、権力者の過半数の署名をかち取るべきならぬ、それは可能である(一九六〇・五・二〇、共産党幹部会声明)

十一月六日韓特別委における強行採決に引続いて十二月本会議において強行採決された「日韓条約批准案」国会内におけるそれは、何か一九六〇年安保国会、安保闘争における社民、日共指導部のマンガ化された映像を大きくロープアップさせる。

十一月十二日、学生諸君、全国の労働者、学生諸君、十一月十二日を期して「日韓強行採決」は新たな段階に立たせられたことを知らなければならぬ。それは一般の強行、空襲的な叫びを上げるのみでは闘いの質も理解することができず、また、闘いの展開も明確にすることができぬ。全国の労働者、学生諸君政府自身

十一月十一日、日本国憲法の慣行も法規もブルジョアのルールもつぎつぎと破りつて、ペン師のアクロバットをもつて採決を強行した。それは戦後、〇年議院政治の上で支那階級が唯一度も企及したとはしなかつたことである。

院内外を武装警備で固め、国会内における社会、民社両党の話し合いもボゴゴと強行採決された事実、何れも日韓条約の本質を物語っている。ブルジョア階級としては、議院民主主義というペルが重くたれぬべきである。権力支配こそ彼等の本質である。それは日本戦後政治史の中で危機的事態の進展の度に応

行いかんによっては日本ブルジョア階級の姿の投映でもある。「安保」の教訓といひ得るならば、まさに「安保」の教訓として、「重く」「困難」であった日韓闘争が大衆的行動、戦闘化に発展する以前をねらった強行採決の拳に出たのである。反体制の側があつても、四〇〇〇万署名」と「統一行動」をめぐる指導方針がた

はどうか。国民全体の問題で、社会党は物理的な力によつて日韓条約を阻止しようというのではなく、法規例に従つて合法的な闘争をおこなう考へだ。その闘争の最大の要因として、配られたのは都府連に結集した首都における戦闘的、学生諸君の革命闘争の発展、反戦青年委員、会が結集した戦闘的、生産者における青年労働者の階級的決起の飛躍の発展である。

警察庁は違例のデモ取締体制について(十一月十日)「国会内の入込は絶対禁止する。国会議場内に対する内外からの妨害を排除する等々」の基本方針を発表し、あつて「政府要人などの私邸(今七をかける動きがある)で警備を強化せよ」と全国に指示を出した。まさに事態は激化して、安保闘争の高揚局面と同一状況出現を見せていたのである。

この決定的段階で、十一月七日「社会党は院内での闘いに重点をおくが、議会民主主義を破壊するファシズムをとりぞろいと」はどうか。国民全体の問題で、社会党は物理的な力によつて日韓条約を阻止しようというのではなく、法規例に従つて合法的な闘争をおこなう考へだ。その闘争の最大の要因として、配られたのは都府連に結集した首都における戦闘的、学生諸君の革命闘争の発展、反戦青年委員、会が結集した戦闘的、生産者における青年労働者の階級的決起の飛躍の発展である。

# 12国鉄ストと日韓の新局面

日韓条約阻止闘争は、二二年間新左翼潮流の最も主要な闘争であった。日韓条約闘争が一定の高揚を示し、正に全国的な課題となつて諸階級、諸ヘゲモニーの流動状況を迎えている。離れが最も正しい方針をこの闘争に對して提起したかは、現実の物質力となつてあらわれているが、かかる状況を迎えた、理論的、思想的內容の再検討を要するところの傾向は、マル戦にいたつて

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

それは、マル戦、解放派の日韓ドグマとは本質的に違つた。解放派に典型的にあらわれた傾向は「日韓条約が成功すれば、日本はファシズム化する」という、本言による危機感をあおつて闘いを組織するところの「手口」であり、これを「情勢分析」と名づけていた。

だが、このことでは、日本帝国主義の一切の動向を日韓問題に集約するが故に、アシテーションはなり得る闘いの方向を指示するものとはならなかつた。この傾向は、マル戦にいたつて

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

それは、マル戦、解放派の日韓ドグマとは本質的に違つた。解放派に典型的にあらわれた傾向は「日韓条約が成功すれば、日本はファシズム化する」という、本言による危機感をあおつて闘いを組織するところの「手口」であり、これを「情勢分析」と名づけていた。

だが、このことでは、日本帝国主義の一切の動向を日韓問題に集約するが故に、アシテーションはなり得る闘いの方向を指示するものとはならなかつた。この傾向は、マル戦にいたつて

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

# 闘争の現時点からの一教訓

## 新左翼潮流とわれわれの立場

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

は、最も悪くあらわれ、「日帝たわれれ自身に對しては必要である、重大なものである」。わが同盟は、日韓闘争の中心として、日帝の海外進出の開始として、一般的に位置づけられるべきなく、それを、再編を迫られている日本帝国主義の重大なヘゲモニーの動向としてとらえた。そのことと同様に、日本帝国主義の階級支配の形態の転換とそれによつて導き出される階級闘争の中で日韓闘争の中心にあらわれべき問題も提出された。

# 日韓批准と日帝の基本動向

日韓批准は明らかに戦後初の一大事件であるが、それは第二次大戦による日本帝国主義の敗北が生み出した国際関係の最後の戦後処理の一面を占めていると同時に、より強烈に日本の新たなアジアへの侵略の第一歩を築く歴史的な性格をもっているのである。

そして、この日韓批准は去る十二日の衆議院において自民党の強行採決によって第一の草案は批准のうちに、参議院をめぐる新たな段階に突入した。これにわれわれは日韓批准阻止闘争を描きたる階級情勢について詳しくこの重大な点を指摘しつつ、日韓国交正常化以降の日本帝国主义の動向とその階級攻撃について、激動するアジア情勢の中での展望を試みたいと思う。

## Ⅰ 日韓闘争をめぐる階級情勢

まず第一にブルジョアジーの「帝国主义の国家主義」を具体的韓批准に対する基本的姿勢を明らかにするならば、少くも日韓批准に際しては自民党右派の階級情勢の主流を占め、これを財界が強力にバックアップするといった形で強硬路線が確立したと云うのである。このことは日韓批准に際して自民党の並々な決意に現れており、それは自民党が初めて大規模に展開した国民運動の展開や、国会において始めから条約の討論を拒否したところの強行採決、自民党の強硬な態度と云うことからは、議会制民主主義の台頭が、また自民党内反対派は宇部高氏一人といった結束力の強さを象徴されている。さらに、この「議会制民主主義」の台頭が、自民党内反対派は宇部高氏一人といった結束力の強さを象徴されている。さらに、この「議会制民主主義」の台頭が、自民党内反対派は宇部高氏一人といった結束力の強さを象徴している。

## 「自民」右派路線、そして本命政・財界一致の「再編運動」を打倒せよ

に靡り込み、その後はさらに自主的に盛り込みシブヤクを繰返すといった階級情勢に転じていったのである。そして東京日韓闘争においても同様の事態が展開された。しかし、幸か不幸か彼等には明確な指導部が存在しないという、われわれは主体的な階級情勢として確認しなければならぬ。このことは、先にも述べたように左翼の思想性の停滞、運動の展望においても安保闘争以上にその裏において権力を追うものを何ら握り得なかつたことによるものかもしれない。以上が日韓闘争をめぐる階級情勢の総括的見解である、このことはわれわれの次の闘いの展望を切り開いて行かねばならぬ。

## Ⅱ 新たななるアジア情勢と日帝

われわれはこの項で、アジアにおける中共路線の復活と日帝の漸進的な侵襲について語らねばならない。同時に後進諸国の新たな動向と後進国革命の挫折について語らねばならない。

九・三〇運動を端緒としたインドネシアのクーデター騒ぎは、インドネシア共産党(PKI)の互解という重大な事態を生み出した。中共が日共によってこの運動に模範生として賞賛されたことは、中共が日共によってこの運動に模範生として賞賛されたことは、中共が日共によってこの運動に模範生として賞賛された。

このことは中共共が十月三日の「人民日報」において、日帝の進出に抵抗するPKI型平和革命方式の無意味な取返を意味する。PKIはスカルノ体制を意味する。PKIはスカルノ体制を意味する。PKIはスカルノ体制を意味する。

## Ⅲ 国家主義と対決せよ

われわれはこの項において、一九七〇年にいたるブルジョアジーの基本的階級攻撃の動向を洞察したいと思ふ。

それは言うまでもなく、当面するブルジョアジー支配体制の矛盾をいかにブルジョアジーに止揚して行くかという点である。

現在の日本資本主義の矛盾は第一にますます激化する経済不況にある。本年九月の鉱工業生産指数は上昇をストップし、大企業の収益は五・八%低下し、また倒産件数は本年第三位を記録し、その格も金詰り倒産から、仕事がない倒産に至るに至っている。

ここに資本階級は全面的な労働者階級との対決を準備しつつある。それは新たな合理化と人員整理である。すなわち多岐経営から集中生産、赤字部門の休業兼、職合同退の機構削減から不況カルテリ形成、機転の強化といった一連の措置は、既に合致するに人件費の削減を行つて来た。

社外、臨時工の整理、解雇抑制(東洋、明電舎、希望退職、横浜ゴム、帝国セメント小野田セメント)から一時解雇へ。また定員制の再検討と称して東芝一万人、東電五千人の人員整理、更には管理職にまで及ぶ待命休職制(三菱電機)、三菱重工に命ずる一万人の整理配転等、まさに基幹産業の大企業に合理化の風が吹きまわつて居る。

これらを通じて日韓批准十日の総論を概して企業主義に徹すること、日本の「人」制の確立、能力主義的管理を行うことを提案し、おまけに公務員給与の凍結を提案した。その上、財界人自身が一九七〇年に向けての対策を協議し、経済四団体の統合、文化教育対策として全国に「教育文化コンピナート」を設立することを申し合せ、返す刀で自民党の頭脳を攻撃した。このように資本階級が、一面は異なる形で労働者階級と対決を打ち出し、一方では全国民に対するイデオロギー攻撃を展開しつつあるのだから、これに対してわれわれは早急に労働者階級を中心にした反撃の準備をしなくてはならない。

第二の攻撃は、公共料金の値上げ、防衛と真の自立」に移行せよ、また「核拡散防止」を「核管理」にすりかえ実質的「核武装」に到達するという道筋である。この核政策は単にアメリカの核のカリカに倣つて守つてもらうという論理では断じてなく、明らかに少くとも日韓批准の核政策であり、核管理を意味するものであり、そのような立場になって更に一段と高次元の日米関係の再編を求めずはならぬ。このような核政策に象徴される日本帝国主义の真の確立を通じて、イデオロギー的にはアメリカとも全く対等する方向に、またそのようなブルジョアジーの階級情勢の再編、アジアの防衛といった視点からの民衆の使命を全体として国家主義的にイデオロギーとして全国民を巻きこんで行くこと、ブルジョアジー自身党内における新たな階級情勢の再編、日本帝国主义の再編、アジア政策は現段階においては、日韓批准を足場と中共打開をたまたみとした日帝の東アジア政策の一つの展望を与えるものである。

事実、現在われわれが最も警戒しなければならないのは、右派が「東洋」開港銀行の設立、ベトナム特需の拡大、メコン川開発の出資等々、日本帝国主义のアジア政策は現段階においては、日韓批准を足場と中共打開をたまたみとした日帝の東アジア政策の一つの展望を与えるものである。

事実、現在われわれが最も警戒しなければならないのは、右派が「東洋」開港銀行の設立、ベトナム特需の拡大、メコン川開発の出資等々、日本帝国主义のアジア政策は現段階においては、日韓批准を足場と中共打開をたまたみとした日帝の東アジア政策の一つの展望を与えるものである。

【三頁から続く】ブルジョアジーの側で議会民主主義を否定した現在、われわれは自らブルジョア民主主義を守ることを求め、ブルジョア的にブルジョアに自らを拘束する必要がある。われわれの武器を下さませ、安保闘争六・四ストップ絶括は次のように提出している。

「連日の闘争は労働者を左翼化させる、民間を激しく突き上げた。政治スタブはできない」といふ。「『政治スタブ』は、組織の弱さのため」と言われ、組織の弱さのため、政治スタブはできないといふ。政治スタブは、組織の弱さのため、政治スタブはできないといふ。

「連日の闘争は労働者を左翼化させる、民間を激しく突き上げた。政治スタブはできない」といふ。「『政治スタブ』は、組織の弱さのため」と言われ、組織の弱さのため、政治スタブはできないといふ。

「連日の闘争は労働者を左翼化させる、民間を激しく突き上げた。政治スタブはできない」といふ。「『政治スタブ』は、組織の弱さのため」と言われ、組織の弱さのため、政治スタブはできないといふ。

面には、明らかに七月二十日の東京新聞の論議にあるところ「アメリカと中共戦争などを中心としたくない」といったきわめて現実的発想が、ベトナム戦争を契機としてきていることを見落してはならないであろう。この発想が先に展開した論議と容易に結合することには誰の目にも明らかである。

以上をめぐり、ブルジョアジーの志向する日本帝国主义の真の確立への構想は、きわめて現実的であり、またそのようなブルジョアジーの階級情勢の再編、アジアの防衛といった視点からの民衆の使命を全体として国家主義的にイデオロギーとして全国民を巻きこんで行くこと、ブルジョアジー自身党内における新たな階級情勢の再編、日本帝国主义の再編、アジア政策は現段階においては、日韓批准を足場と中共打開をたまたみとした日帝の東アジア政策の一つの展望を与えるものである。

事実、現在われわれが最も警戒しなければならないのは、右派が「東洋」開港銀行の設立、ベトナム特需の拡大、メコン川開発の出資等々、日本帝国主义のアジア政策は現段階においては、日韓批准を足場と中共打開をたまたみとした日帝の東アジア政策の一つの展望を与えるものである。

# 日韓闘争の現局面

## 闘いの方向と同盟の任務

### 11月下旬全国ストを

### 自然承認阻止の鍵は「佐藤」打倒

飛鳥浩次郎

日韓特別委員会は、九月十五日、衆議院本会議で「自然承認阻止闘争」に関する決議を採択した。この決議は、形式的な協議の再開を全面的に拒否し、安んずるべき闘争の展開を主張するものである。この決議は、形式的な協議の再開を全面的に拒否し、安んずるべき闘争の展開を主張するものである。

#### 日韓「反トロ」キャンペーンの本質

このキャンペーンの本質は、日共代々木派が、この間の闘争をすすめる主要な要因であった。このキャンペーンは、日共代々木派が、この間の闘争をすすめる主要な要因であった。日共代々木派は、このキャンペーンを通じて、日共の政治的立場を明確にし、労働者階級の連帯を促進しようとしている。

#### 闘争の発展段階の重視

この闘争の第一段階は、自衛隊の暴行を暴露することである。第二段階は、自衛隊の組織を崩壊させることである。第三段階は、自衛隊の存在を根絶することである。この闘争の発展段階は、労働者階級の政治的成熟の度合いを示している。

#### 佐藤内閣打倒のたたかい

佐藤内閣の打倒は、日韓闘争の重要な課題である。佐藤内閣は、日韓関係の悪化を招いた責任を負っている。労働者階級は、佐藤内閣の打倒を通じて、日韓関係の改善と労働者の権利の擁護を目指す。

#### 大量不当検挙に抗議と救援

九月以降、労働者に対する大量不当検挙が行われている。これは、労働者の権利を侵犯する行為である。労働者階級は、この不当検挙に強く抗議し、検挙された労働者を支援する。

#### 階級的流動とはなにか

階級的流動とは、労働者階級内部での政治的立場の変化を指す。これは、労働者階級の政治的成熟の過程で生じる現象である。労働者階級は、階級的流動を通じて、より統一された政治的行動を目指す。

以上述べたように、日韓闘争は、労働者階級の政治的成熟を促進する重要な契機である。労働者階級は、この闘争を通じて、自らの権利を擁護し、社会正義を実現する。

#### 十一月下旬の闘いの段階

十一月下旬の闘いは、自衛隊の暴行を暴露し、その組織を崩壊させることを目指す。これは、労働者階級の政治的成熟の重要な試金石である。

#### 共産主義

共産主義は、労働者階級の政治的成熟を促進する重要な理論である。労働者階級は、共産主義の指導のもとで、社会主義の理想を実現する。

#### 復刊一号

十一月二十五日発売予定

戦後政治過程の終結	漢谷大志
日本共産党批判	飛鳥浩次郎
創価学会論	大浜
プロレタリア革命とマルクス主義	岩田弘・他